

吹き寄せせる波高はいつも同じ





最近

えっちな夢を見る

きっかけは
間違いなく
優花里さんとの
初体験……

あの夜が
忘れられない
自分がある

あの時の事
ばかり考えてる
せいだ……

付き合い始めてから
優花里さんの事ばかり
考えてきた

それが
あんな事したせいで
更に私は……

はあ……



優花里さん

優花里さん

優花里さん

優花里
さんっ……!!



ん……

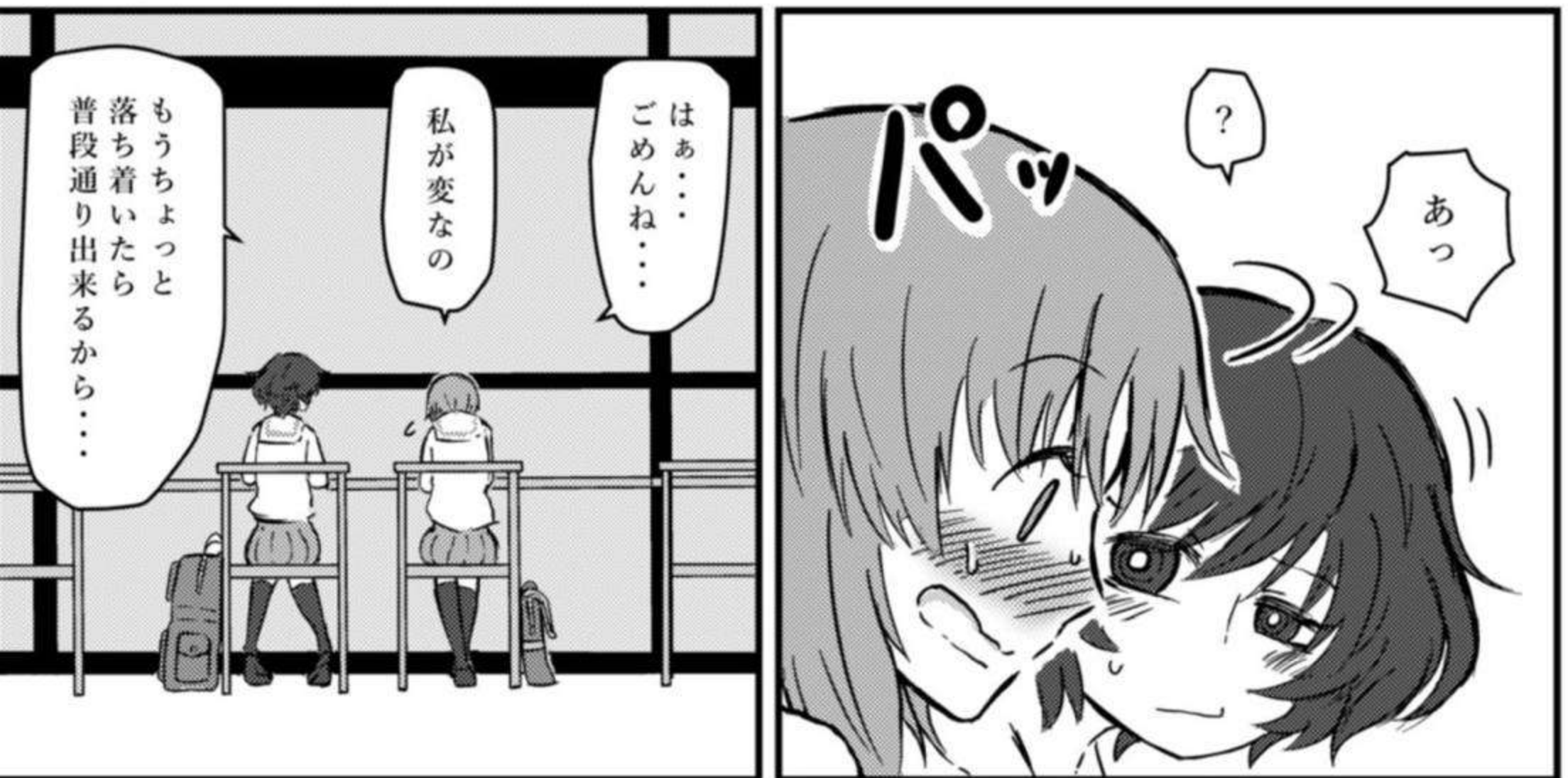
ふ……

優花里
さん……







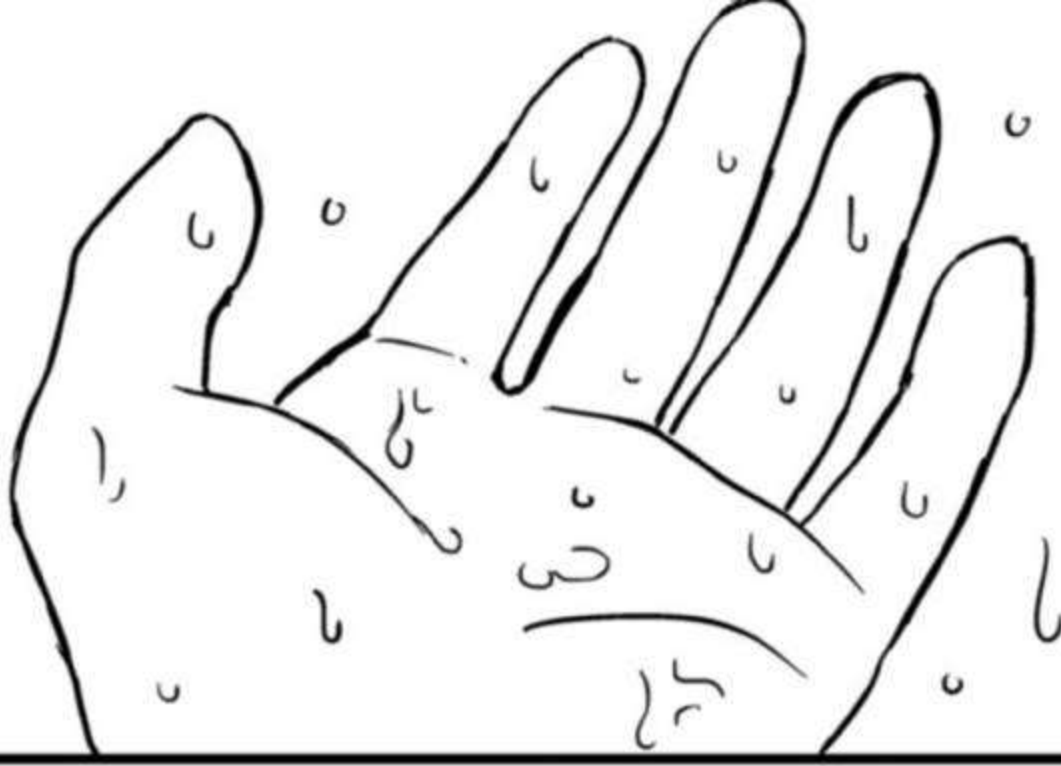




私の中に
いる

制御出来ない
「私」が……

あの時
みたい……



止まれなくて

抑えられなくて

優花里さんを

私は……!



耐えな
きや……!













優花里さんの顔見るだけでっ

そのっ

触れたくなったり...

キ、キスしたくなったり...

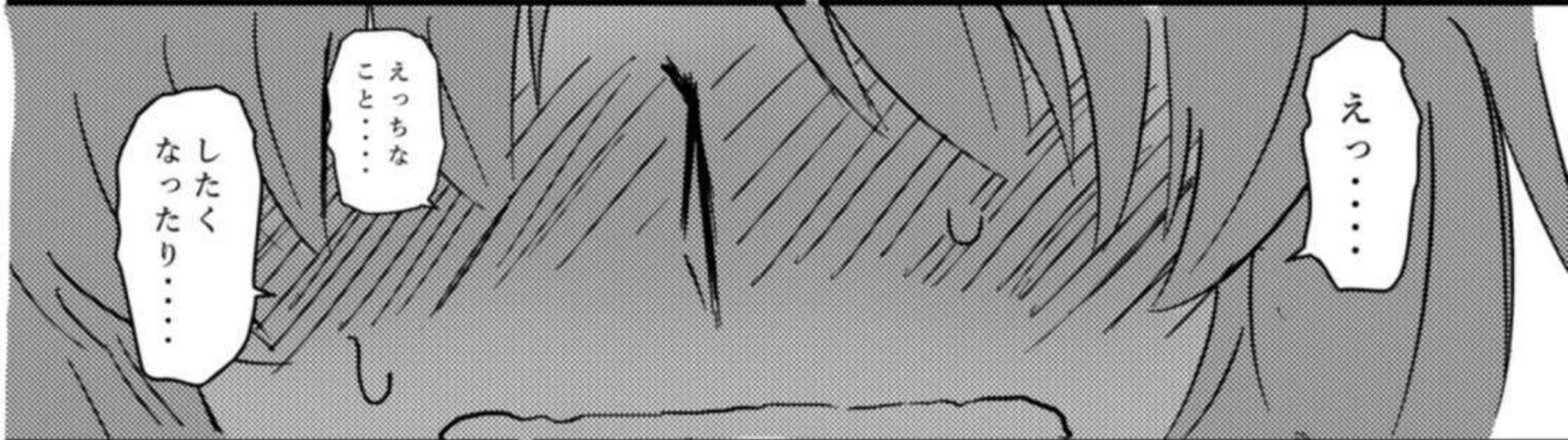
ギュッ...



今でも信じられないって言うか...

憧れだった西住殿とこうして付き合えてる事実に興奮冷めやらぬと言いますかっ...!

そっ
そっ
そういうんじゃないかって!!



えっ...

えっちなこと...

したくなったり...



あっ!
でもそれは私も...

私だって西住殿のっ

私の方がっ



があっ...

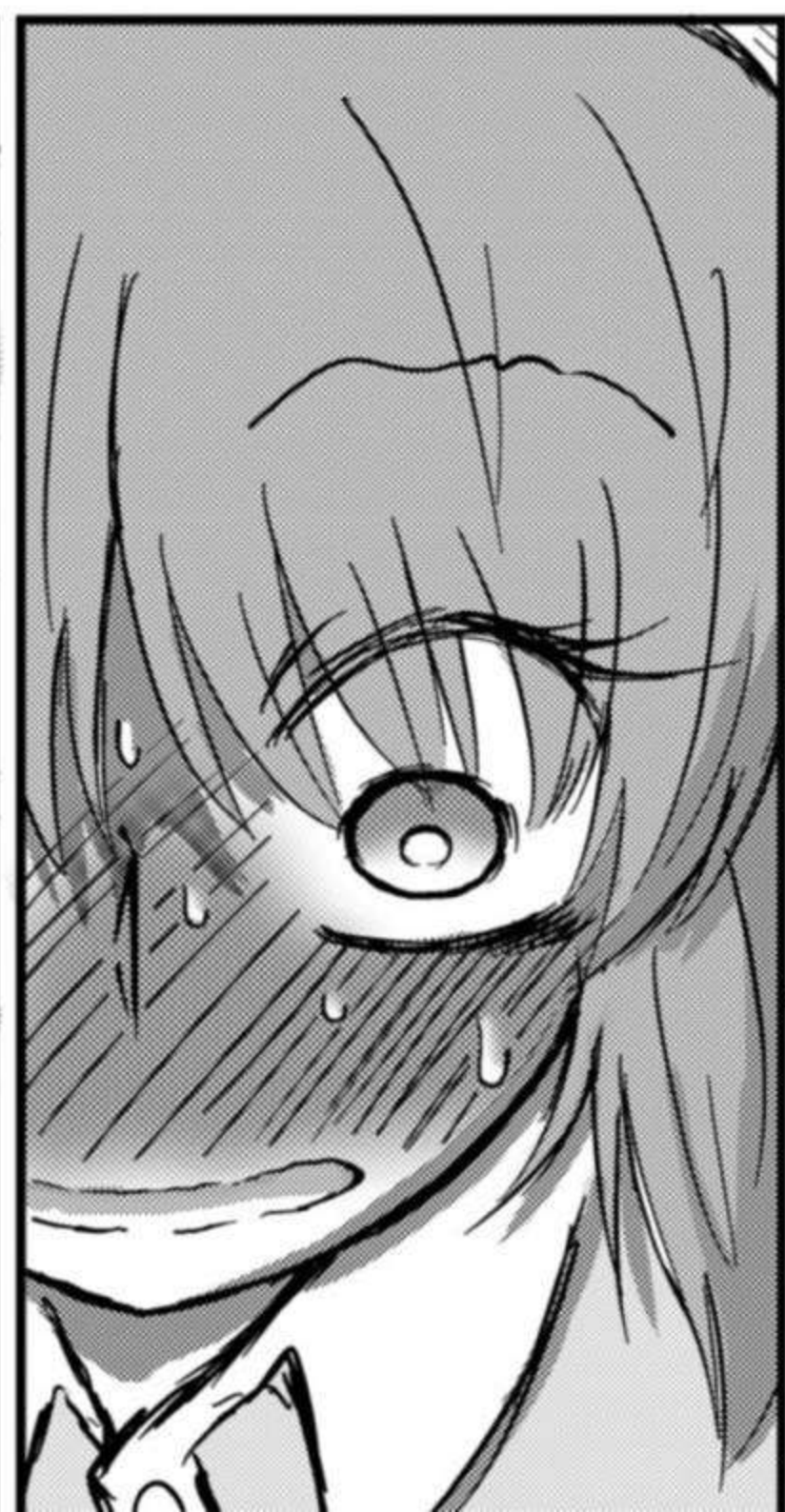
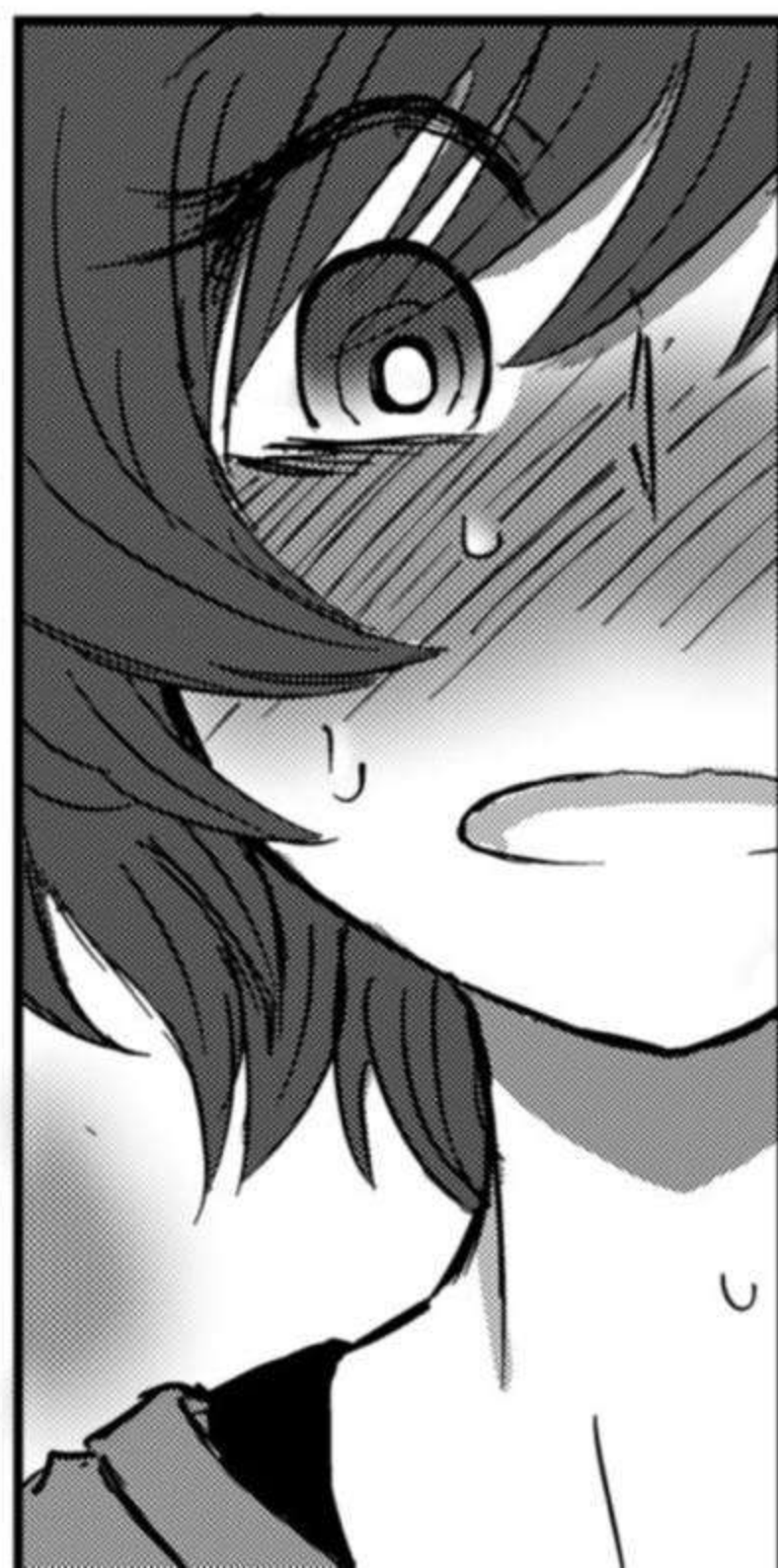
あ...



バンバン

あわ

あわ





私の
バカ……!!

勢いで
あんなこと……
なんで抑えられないの!?

恥ずかしい!!

死にたい!!

明日
どんな顔して
優花里さんと……!!



優花里さんの
前でばっかり……
なんでっ……!?

カアアア...



あの……

一つだけ……
お願い聞いて
くれませんか……?

……
な、なに……?



……

みほさん

!!



……



……
うん



おやすみの
キス……

させて
くれませんか?





私……
どんな顔
してますか……

……

こ、こーふん
してる……?



ほら、
同じなんです

私だって……
えっちなんです



そうです

みほさんに
ムラムラして
います

今すぐ
おろしたい

ええっ

ドキッ



あんなこと
言われて……

寝れるわけ
ないじゃない
ですか



その……私、も……

優花里さん……

私……

分かってます……



ううー



今夜は私に……

あの日のリベンジをさせてください



顔を見れば

分かります



ガンッ

あ、あと…
あんまり
あちこち触るのも…

服はその…
着たままで…

ええーっ!?



…さつき
お願い聞いたから
私からもいい?

は、はい

もちろん



それくらい
しないと…

私また…
どうなるか
分からないから…



それは
殺生ですよ

あんまり
です…

だっ…
だっ…
だっ…
だっ…
だっ…
だっ…



そんな顔で

そんな事
言って

フッ
フッ
フッ

私だっ
どうなるか
分からない
じゃないですか…



分かりました

じゃあ私、
一箇所しか
触りません！

一箇所……？



あっ！！

ガ
ー
ッ

あ、やっ……
やっぱりそこお……？

当然です！！

もうこれ以上は
譲りませんよっ！！

断固として！！



わっ
分かってるから

キュッ……

でも
ちよっとだけ
心の準備させて……

はっ

はっ……











西住殿……



私も
同じなんです



西住殿が
私とそうしたい
と思ってくくださる
ように……



私だって

私だって
いつだって
貴女と……



私だけに
しか見せない

そんな西住殿が
見たいと



ゆかっ……!!



この手で



私だけの

みほさんを





みほさん

みほさんっ

びん

びん

びん

びん



あー

びん

あー

あー

あー

あー

あー

あー

びん

びん

びん

びん



行って
くださいっ……!!

私でっ……!!

びん

びん

びん

びん

びん

びん

びん



パン

バツ

バツ

バツ

バツ

バツ

バツ

♡♡♡♡♡



こんなに...

はあ...

はあ...

ぐわんぐわん

はあ...

ぐわんぐわん

はあ...

ぐわんぐわん

はあ...

ぐわんぐわん

...



ありがとうございます
ございます...

みほさん...♡

ちゅっ♡♡♡

♡

それ...

私のせりふう...

ぎゅっ♡



全然今までは
そんなんじゃない
なくって……!

でもね?
こんな風になったのは
優花里さんと付き合っ
てからで……

あつ
でも!



私が……
こんなえっちな事
ぼっかり考えたり……
してたりして……

……幻滅
してない?



ゆっ
優花里さん?

……
ふふふっ!



私だって
みほさんと出会う前は
ご存知の通り戦車しか
頭になくって……

恋人と触れ合ったり
愛し合いたいなんて
微塵も考えて
無かったんですから



みほさんをつくづく
同じだなあって
思いました……

いえその……



みほさんと
同じで...
私嬉しいですっ!

私も同じ思い
なんですから
恥じ入る事なんか
ないんですよ!



だから...
きっと自然な事
なんですよ

好きな人が
いれば...
そういう事だって
自然と考えるように
なるんです



優花里
さん...

ありがとう...



あと、
...

みほさんが
恥ずかしがってた事を
私も知っているので...
それもお互い様です

ええ?
優花里さんも
えっちな夢
見たの?

いえ
そっちなじゃ
なくて...



みほさんの
事を考えながら...

ひとりで...

その...



次は
私の番だよ

ギッ

そんな事言われたら
私だってムラムラ
するもんっ!

はええっ!?

わっ私は
いいですよお!

わああああっ!
やっぱりみほさんは
えっちですー!!

それもお互い様
でしょー!?

おあり。



ひやっ!!

みっ
みほさん!?

モジッ

モジッ...

あとがき

ノウメンです。

まずはこの本を手にとっていただき、本当にありがとうございます！！

今回はガルパン本二作目ということで、最初は健全な漫画を描こうと思っていたのですが、気づけば一作目と同じみほゆか百合えっち本を描いていました。不思議な事もあるものですね。前作を見ていなくても単体で読めるようにしようと思っていたのですが、なんやかんやがつつり続きものとしてのストーリー展開になってしまった事が反省点です。前作を知らない方々は申し訳ありません！！今説明しますとみほゆかは付き合っていて初夜を経験していてしかしその初夜はみほさんの暴走によって終わってしまう内容だったのです以上です！！前作とは雰囲気を変えて挑みたいなと思い、イチャイチャの内容など大幅に変えてみました。リードしたがりな優花里に華をもたせてやった形に出来たかなと思います。フィニッシュ寸前のドヤ顔なんかをそれを表わしています。あまりメジャーで人気な描写をせずに地味な画面になったかと思いますが、みほさんと優花里の次第に移り行く表情や言動でどうにか盛り上げようと苦心しました。それが読者の皆様に伝わっていれば幸いです！

みほさんは多感な時期に戦車道家元の娘という抑圧された環境で育ってきたので、その押し殺してきた激情を内に秘めるもう一人の自分が存在するのではないかと考えています。魔物です、怪物です。そういうヤバいものを抱えて生きてるみほさんが好きだからそういう風に捉えてるだけなので、異論は認めます。みほ好きな方も見てるかもしれないからとりあえず謝っところ、ごめんなさい。優花里はそれを理解しつつ、自分には抑えず解放して欲しい多少傷つけられてもいい全部受け入れますと両手を広げていそうですね。そうしてみほさんに頼られる、甘えられる存在でありたいと思ってるふしがあるのではと。共依存に近い危ない関係のようにも思えますが、みほさんも優花里に対してかしこまらず対等でいて欲しい横にいて欲しい寄りかかったり寄りかけさせて欲しいと思っているので二人は絶妙なバランスで押しつ押しされつ一緒にいて欲しいなあとか考えてます。当然互いの思惑が食い違い衝突もあったりと波乱も少なからずある。そうしながら雨降って地固まって欲しいなあとか考えながら、次回以降のみほゆか漫画を妄想したりしています。楽しいなあみほゆか考えるの楽しいなあ皆も描こうね！！！！

自分の考えを文字上で表現するのがすごい苦手なので上手いことまとめられないのですが、今回もハプニングなども重なり時間があまりとれなかったので思ったことをべらべらと口ずさませていただきました。あとがきなんてそんな見ないでしょ！自由にやっていいよね！自由にやります！これからも！とにかく言いたいのはみほゆか描きたい事が多すぎます！！間違いなく全部描きたい事を書くには人生が足りません。クリア特典付きで三週くらいは必要です。知ってる方もいるかもしれませんが僕はみほゆかを大学生にしたり社会人にしたりもするので、時系列を弄る事でまた幅が広がって無限にみほゆかを楽しめるという寸法なんですね。高校の時とはまた違った関係性や環境を妄想し、独自のみほゆか世界を構築していく。これ以上に楽しいことあるんですか？ないです。皆さんも是非やってください！そういう事でそろそろうんざりされそうなので止めます！ありがとうございました！！

奥付

タイトル：「吹き寄せる波高はいつも同じ」

発行日：2018/09/23

発行者：ノウメン(大洗能楽堂)

pixivID：1413051

TwitterID：@ratiuyu2

印刷所：株式会社 栄光